

1月30日 金曜日

2015年(平成27年)

夕刊

室蘭民報

MUROMIN

フィリピン・ミンダナオ島に贈る運動靴を生徒会に
手渡す木村君(右)



室蘭・海星学院高 3年生の善意24足

フィリピンに 運動靴寄贈へ

室蘭・海星学院高校の生徒会(松木美優会長)がフィリピン諸島のミンダナオ島に贈る運動靴を24足集めた。靴は3月に卒業を控えている3年生から集めたもの。松木会長は「お世話になった先輩たちから集まった善意を届け、1人でも多くの人の支援になれば」と話している。

前生徒会長の戸孝代君(3年)の発案で昨年からはじめた取り組み。昨年12月中旬から生徒会室前に回収ボックスを設置し、提供を呼び掛けた。上靴のほか、バスケットシューズやスニーカーも集まった。

木村学君(3年)は「普段は外靴で生活し、体育の授業の時だけ使っていたので、とてもきれいな状態。ミンダナオ島の人たちに喜んでもらいたい」と笑顔を見せていた。

集まった靴は回収活動をしている小樽市の市民団体「ワールドフレンズ」を通じて現地に贈られる。

(石川綾子)